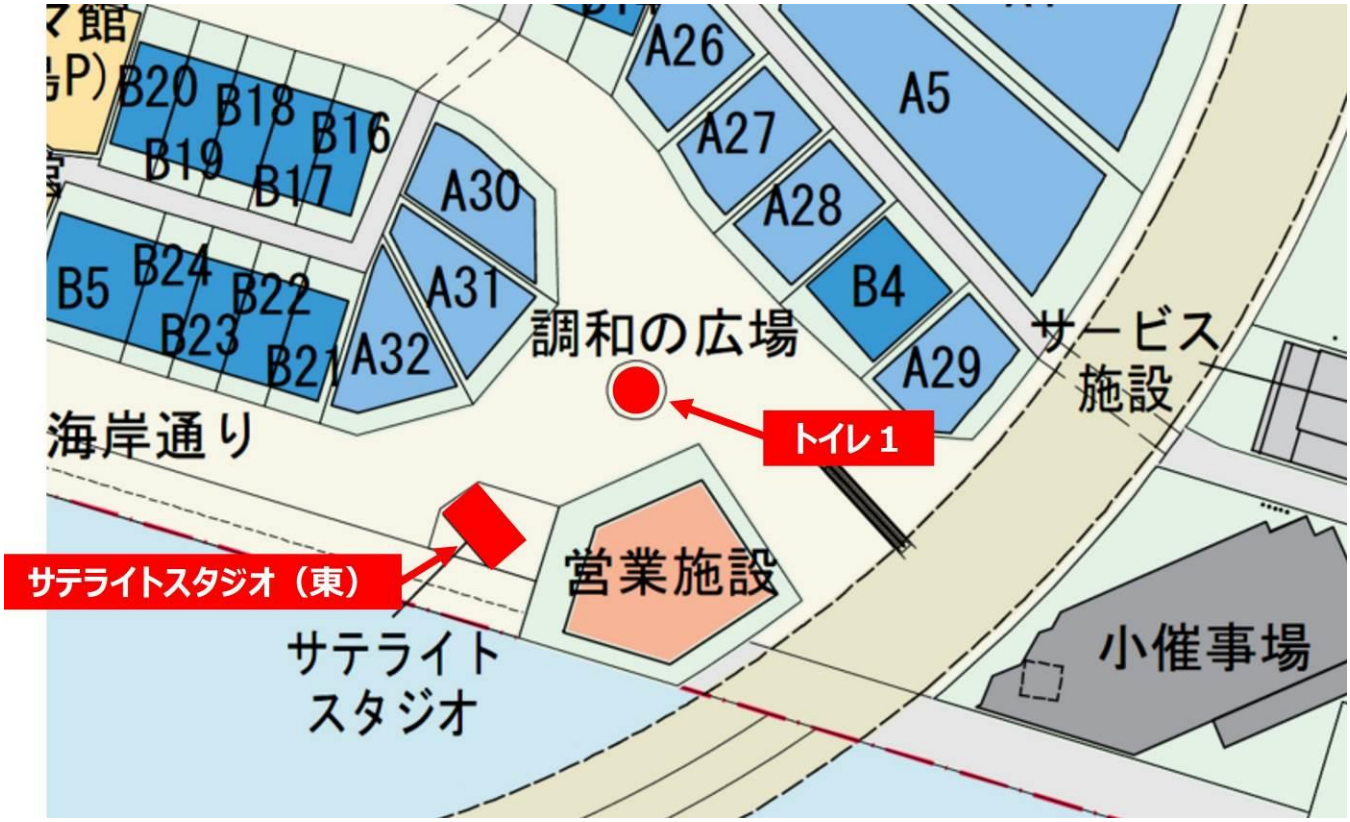
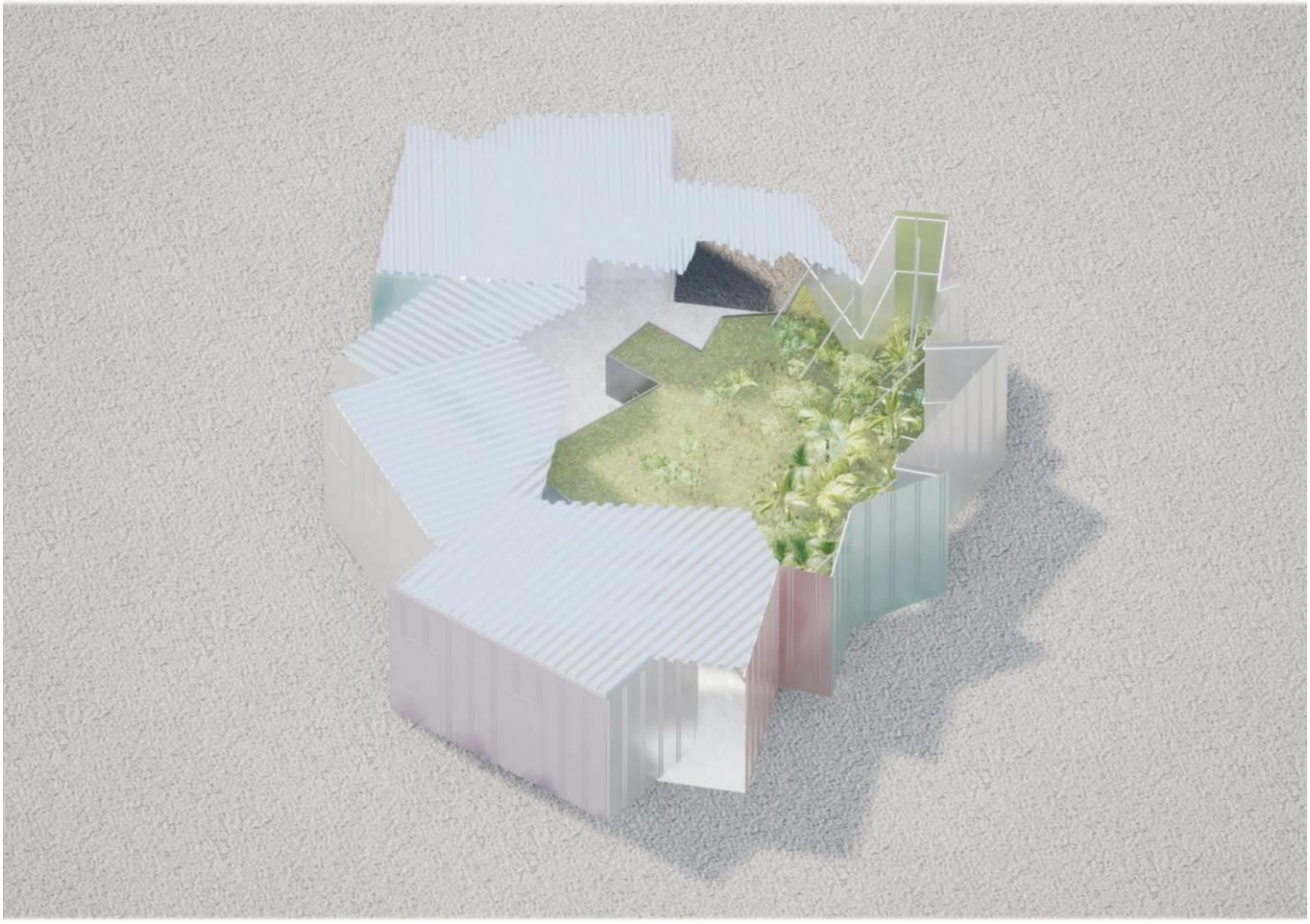
OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO2025

南東工区①　トイレ１ / サテライトスタジオ（東）



施設名：トイレ１



パース①

【施設概要】

①設計者：井上 岳 ＋ 齋藤 直紀 ＋ 中井 由梨 ＋ 棗田 久美子 | GROUP

②主用途：トイレ　③階数：平屋建　④延床面積：81.27㎡　⑤構造：鉄骨造

設計コンセプト

万博前の夢洲には、植物や鳥類が棲みつき独自の生態系がつくられていました。そして、夢洲は万博やIR による利用が決まり、更地になりました。本計画では万博期間中に人間が立ち入れない、夢洲につくられていた生態系がアーカイブされた「夢洲の庭」をつくります。利用者は入口から各個室に入り、出口から出ると、アーカイブされた夢洲の生態系を一望できます。この「夢洲の庭」は万博会場の中で、夢洲の過去現在未来に思いを馳せ、自然と人間の共生のあり方を再考できる場となります。

施設名：トイレ１

パース②

施設名：サテライトスタジオ(東)

【施設概要】

①設計者：野中 あつみ ＋ 三谷　裕樹 | 株式会社ナノメートルアーキテクチャー一級建築士事務所

②主用途：放送用スタジオ ③階数：平屋建　④延床面積：248.08 ㎡　⑤構造　：木造

設計コンセプト

私たちは一般的な建材を扱う合理性を捨て、規格も入手ルートも不鮮明な非合理的な手法で建築をつくります。そんな先の思いやられる設計の足掛かりとなるのは、その木がどのような由来=ストーリー性を持つかということです。

合理的かつハードの側面に価値が見出されがちな木材を非合理的かつソフトの側面に価値を見出し、従来の建築とは真逆のプロセスで建築をつくるのです。ここに集まるのは個性的なバックボーンを持つ、形は歪で土やコケやフジツボ(!?)がついているような、実に厄介で愛らしい木たちです。

そんな木たちを主役に据えることで、木たちを、ひいては建築そのものをストーリー性という新たな視点で批評できる価値観を養うことが私たちの挑戦です。